



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

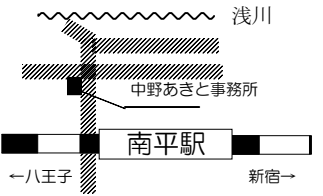
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2019年
1月発行

第194号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



中野あきと事務所



2019
今年もよろしく
お願いいたします

安倍政権を 終わらせ 新しい政治へ

中野あきと

私は、この政治害悪から解放されれば、市民の暮らしや営業に正面から向き合う、まっとうな政治への展望が開かれてくると感じています。もちろんそれは、自動的に開かれるものではありませんが、市民と野党の共闘の前進、「保守」と言われる方々の政治やまちづくりをめぐる様々な共同の広がりを見たとき、ワクワクするような政治を展望せずにはいられません。

「みどりと清流」をお読みいただいているみなさん。
今年もどうぞよろしく、お願いいたします。
昨年1年の政治を振り返ってみますと、安倍政権の政治の悪質さ、強行に次ぐ強行の「強権政治」、それを押し通すための「うそと隠ぺいの政治」が極まった1年だったと思います。今年はこの安倍政権を終わらせる年にしたいと決意しています。



元日、恒例の挨拶を行う中野あきと市議 (高幡不動駅南口)

いま、「安倍政権を辞めさせて欲しい」と願う人々が、立場の違いを超えて力を合わせてたたかいて、新しい政治をつくりだすことが求められる、そんな局面に入っていると確信しています。
そして何より市民の暮らしを守るため、市民の暮らしの願いを実現させていくために、今年1年とことんがんばります。

黒川湧水を守りぬくために 日野市のなすべきことは

12月議会
中野あきと
一般質問①

昨年7月に起こった黒川清流公園内の湧き水の白濁や枯渇現象。東京名湧水57選に選ばれた日野の湧水のシンボルで何が起こったのか衝撃が走りました。その後、清流公園の段丘上部で行われていた大規模なマンション開発事業との因果関係が一部明らかになり、現在、開発事業には「待った」がかかり、日野市の第三者委員会での検証作業が行われています。

中野あきと議員は、直後の9月議会一般質問で、事態の全容と日野市への責任を明らかにしました。引き続き12月議会の一般質問では、湧き水の保全へ今後この開発事業にどう対応すべきか、湧き水や地下水の保全を大前提に科学的知見を根拠とした

対策をとること。「疑わしきは前に進めない」という予防原則を打ちたてることなど3点にわたる対応方針を提案。最後に、湧き水・自然環境の保全という社会的価値を守り抜くために、経済的利益や損得を超えて貢献する企業であり、がんばる自治

体であると評価されるような対応を求めました。
これに対し大坪市長は
「私自身、情けない思いでいっぱいです」「基礎杭を打つことなどという結果になるか、想像力を働かせられなかったことに、みずから深刻に反省しています」「議員が言われた3点について、私も全く同感です」「日野市の生命線である黒川清流公園を守るために、全力を尽くしたいと思っています」と答弁しました。



短信

東の空には細く三日月が輝き、それに寄り添うかのようには明るい金星が。少し離れて木星の落ち着いた光。新しい年は、見事な天体ショーで穏やかに開けました▼高幡不動尊の境内はまだ暗いというのに、本堂へ上がる階段にはもう順番を待つ人の列。いつもと変わらぬ平和な光景です。今年は災害が多いと言われる亥年。どうか平穏な年でありませう▼去年は亥年を先取りしたかのようでした。頻発した地震、列島を襲うスーパー台風、各地の豪雨、そして災害並みの酷暑。日本共産党が行った『災害の危険から国民の命を守る』一従来からの延長線上でない抜本対策を」という「呼びかけ」に、党の内外からは予想以上の反応が寄せられたそうです▼「呼びかけ」の指摘ではこの国の備えはお寒い限り。橋やトンネル、学校や病院など、公共施設の多くが建設後50年を経過。一方、肝心の公共事業は相変わらずの大型開発優先で防災・老朽化対策は後回し。自治体の広域合併と公務員の削減で災害の最前線は弱体化し、消防職員に至っては5万人近くが不足と言います▼亥年であるからこそ、災害に強い国づくりを考える機会としたいものです。「政治的立場の違いを超え力を合わせるとき」とは「呼びかけ」の訴えです。争点としてはなく、お互いが知恵を出し合う課題としたいものです。(K)

全小中学校体育館へ

早急にエアコン設置を！

昨夏の記録的猛暑を受け、子どもたちの熱中症対策とともに災害時の避難所の安全対策という面からも学校体育館へのエアコン設置が緊急の課題となってきました。

中野議員は、この間、東京都が都内のすべての体育館を対象にしてエアコン設置費用に対する補助制度をつくるに至った経過やその充実した補助内容を示しながら、都補助を活用しながら市として速やかに全校体育館へのエアコン設置に取り掛かるよう提案しました。これに対し市長は、「数年間で24校やれる

12月議会
中野あきと
一般質問②

かとなるとなかなか難しい話」としながらも「東京都ががんばって予算措置をしてくれたのは事実でどうできるか、いろいろ考えて努力はしていきたい」と答弁しました。

なお、この問題は他会派の議員も取り上げており、その後、市議会各党派の代表が集まる中で、すべての会派がそれぞれ市に申し入れを行っていくことが確認されました。



《ご質問に答えて》学校トイレが臭い。何とかして

日野市では、現在、学校トイレは毎年2校（2系統）程度を順番に改修する計画で進められています。これでは全学校のすべてのトイレ改修を完了させるにはまだ多くの年月を必要とします。党市議団は、子どもの健康にも関わる問題であり、早急に全トイレの改修が完了するよう計画の抜本的な見直しを繰り返し要求しています。

なお、地域の学校の実情は以下の通りです。

- 南平小学校→全2系統中1系統のみ改修完了
- 平山中学校→全2系統中1系統のみ改修完了
- 七生中学校→全3系統中2系統の改修完了

実現してほしい 降雪時の生活道路への除雪対策

12月14日に開かれた市議会「環境・まちづくり委員会」では、南平2丁目の方からの「降雪時の生活道路への対応の充実を求める」請願が審議されました。

降雪対策について、日野市は「バス路線・ミニバス道路、警察の要請、丘陵地の幹線道路など優先順位に基づいて行っている。市民から76件の要望があり、パトロールもしている。市民の要望をお断りしているところはない」と説明。

委員からは、「高齢者が雪かきをできない状況は、暮らしに影響するので生活道路への対策が必要」や、「市は市民の要請に対して、パトロールなども行い要請に答えて生活道路も進めているようなので、この請願はあたらなない」などが出され、最終的には否決となってしまいました。この後の市議会本会議でも反対14、賛成9で請願は不採択となりました。これから雪の季節が到来します。自治会や近所の助け合いだけでは除雪が無理なところも年々増えています。

日野市はお断りはしていないと言いますが、対応が不十分だからこそこの請願なのではないでしょうか。除雪対策は暮らしや命に係わる大事として、引き続き要求していくべき問題だと思います。（南平1丁目M）

日野市の国保料値上げ条例 与党などの賛成多数で可決

平均年収を下回る200〜300万円の収入であっても、40万円以上の高負担となる国保料。しかも収入は減り続ける中で、更なる値上げを強いるのが今度の日野市の計画です。市民の関心も高く、わずか1カ月余で「値上げ中止を求める請願」に2818筆の署名が寄せられました。

しかし、12月の市議会で請願は不採択に。値上げ条例案は自民・公明の与党と、8人中6人の無党派議員の賛成で可決されました。

条例の可決で日野市の国保料は、4月から一人当たり平均年5000円の値上げとなります。署名運動を進めた「国保をよくする会」は、市議会「民生文教委員会」の中で市民の声を代弁。実施した「アンケート」にもつぎ、「食費を削っても国保料を支払っている」という、母子家庭などの悲痛な声が相次いで寄せられていることを紹介。国保料の値上げよりも、国に国庫負担の増額を求め

ることを。赤ちゃんにも国保料を課す前近代的な均等割の見直しこそ急務だと指摘。値上げ中止を強く求めました。

条例案は可決されましたが市民の声を反映。審議の中では「国保への関心が高いことが分かった」「市民の生活実態の紹介に感謝する」などの意見が議員や市の担当職員から出され、自民党議員からも「均等割は見直しが必要」との発言もありました。

《ちょっとひと息》日野七福神めぐり ◎田村山安養寺・毘沙門天



モノレール万願寺駅の南を走る日野バイパスを西へ500m程。バイパスが完成し付近の風景が一変したが、安養寺の境内は以前と変わらぬ静けさが宿る。（万願寺4-20-8）

《次回無料法律相談》

日野市役所6階共産党控室 午後1時〜3時

2月14日（木）

※予約が必要です。

中野あきと事務所まで ☎042-599-3350